

以森伝心

理事長 柏原康夫筆

27

公益社団法人 京都モデルフォレスト協会情報誌「以森伝心」第27号 2013年12月

京都の森を守り育てる運動に参加しませんか



写真 京都御苑にて

オガタマノキ

二年程前に、京都御苑を散歩していて、「樹形がクリスマスツリーみたいだなあ」と、通る度に眺めていた木があり、葉の表はかるうじて側脈が見えるが、裏はほとんど不明瞭。オガタマノキの幼木であった。

神社によく植えられていて、樹齢数百年といわれる白峰神社のオガタマノキや北野天満宮の大木が有名であるが、住まい近くの神社や邸跡の道路沿いにも大木を見つけた。オガタマノキは成長が早いらしく既にクリスマスツリーの面影はない。「いつの日にか、仙人のようにも見える大木に成長するのだろうか。」と思いを馳せてみる。

2月～4月に咲く白い花は芳香があり、果実は袋果が集まった集合果で、ブドウの房状になって10月に熟す。また、葉をミカドアゲハの幼虫が食べる。神霊を招くために枝葉を神前に供えたことから、和名は招霊が転訛したものとする説がある。

京都森林インストラクター会 大槻 範子(文・写真とも)



イベント参加者募集&助成金情報

森林づくり関連イベント等 参加者募集

参加者を募集している森林づくりイベント等をご紹介します。内容が変更になることがありますので、参加を希望される場合は、必ず主催団体にご確認ください。

第2、第4日曜

京都市

わくわくやましな みんなの里山づくり活動

地下鉄東西線の御陵駅から歩いて約10分の便利な駅近里山です。地域の自然環境復元(ビオトープ作り)と老若男女を問わず気軽に里山体験が楽しめる場所を目指しています。接方来(来る者は拒まず)がモットーですのでいつでも、遠慮なくお越しください。

●開催日時：2013年度 毎月第2、第4日曜日 1/12・1/26・2/9・2/23・3/9・3/23

10時～15時

●集合時間・場所：10時にみささぎの森(山科区御陵大岩10)

●活動場所：みささぎの森

●参加費：100円(保険代)

※資料代等別途必要になる場合もあります。

●定員：特になし

●主催：NPO法人ビオトープネットワーク京都

●申込・連絡先：事前に下記までご連絡ください。

NPO法人ビオトープネットワーク京都

TEL：075-531-7915 FAX：020-4667-8027

E-mail：bionet@jca.apc.org

090-7886-8091 (奥田)

2月23日(日)

京都市

第5回「KYOTO 地球環境の殿堂」
表彰式・国際シンポジウム

地球環境の保全に多大な貢献をした方の功績を称えるため、「『KYOTO 地球環境の殿堂』表彰式・国際シンポジウム」を開催します。

●内容：表彰式典、記念講演、パネルディスカッションほか

第5回殿堂入り者：国内外1,700ヶ所以上で森の再生に取り組んできた宮脇昭氏(地球環境戦略研究機関国際生態学センター長)

●日時：2月23日(日)13時～17時

●会場：国立京都国際会館

●定員：(先着順)1,000名

●参加費：無料

●主催：「KYOTO 地球環境の殿堂」運営協議会、京都環境文化学術フォーラム

●申込み・連絡先：2月19日(水)までにWEBサイト、FAX又ははがきでお申し込みください。

参加受付事務局 (株)インターグループ内

TEL：06-6372-3051 FAX：06-6376-2362

HP：<http://www.earth-kyoto.jp/>

助成金情報

森林づくり活動や、団体運営に役立つ助成金情報をご紹介します。申請される場合は、必ず事前に募集团体にご確認ください。

1/31
(金)
まで

平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」

滋賀県・京都府内で行われる「琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動」に対して助成します。

●助成対象事業

水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、河川や湖等の環境保全、生物多様性維持等、内容が先進的で他の団体のモデルとなるもの

(1) 環境保全に関する実践活動

広く市民の参加を得て行い、活動の普及が期待される水質保全活動・河川環境保全活動、その他自然環境の保全に関する実践活動

(2) 環境保全に関する教育啓発・人材育成活動

広く市民を対象とする環境保全に関するイベントの実施、学習会の開催、その他環境保全に関する啓発、知識の普及、人材育成の活動

(3) 環境保全に関する調査研究活動

(1) または (2) の活動推進に資する調査研究活動。ただし、調査研究活動は実践活動に結びつくものとし、学術的な活動は対象外

●助成対象団体の要件

環境保全活動に取り組んでいるNPO法人、市民活動団体、または学生団体

●助成の金額・期間

(1) NPO法人、市民活動団体 1件あたり上限50万円

(2) 学生団体 1件あたり上限30万円

助成金事業実施期間は4月1日より翌3月31日まで。3年間の継続助成も可(継続選考あり)。

●募集締切 2014年1月31日(金) 当日消印有効

●お問合せ・申請書類提出先

夏原グラント事務局 認定NPO法人しがNPOセンター

〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町207-3 K&Sビル3F

TEL・FAX：0748-34-3033

E-mail：shiga.npo@gmail.com

募集要項、申請書、詳細はHP「夏原グラント」で検索。

もり 森林づくりレポート

獣害の軽減を目指し、山奥に実のなる木を植樹

与保呂生産森林組合・ 与保呂楽しい村づくり推進委員会 (舞鶴市・緑の募金活用事業)

11月24日(日)に舞鶴市与保呂地区にて、与保呂生産森林組合・与保呂楽しい村づくり推進委員会主催で、実のなる木の植樹活動が行われました。この活動は、舞鶴市緑化推進委員会の緑の募金を活用して実施されました。

与保呂地区では、ナラ枯れ等により山にドングリなどの野生鳥獣のエサが減り、里地における獣害が深刻になっています。そこで平成17年から、集落から離れた山奥に実のなる木を植え、野生鳥獣の餌場を還元し、里地における農作物被害を減らすことを目指して活動を始められました。平成20年10月には、愛媛県で開催された「第32回全国育樹祭」にて「ふれあいの森林づくり」で表彰されました。

昨年まではスギの人工林の伐採跡地に植樹して来られましたが、今年は台風18号による水害でこれまでの場所が使えなかったため、今年は「芦の町ため池」の堤体増築工事



のために土砂を採取し、裸地化してしまった山に植樹を行いました。

植樹される苗木



植樹活動の様子



リーダーの門河孝夫さん

秋晴れというには暑いくらいの天候の中、亀岡や和知、兵庫県などからも参加があり、地元住民、行政職員、林業関係者、森づくり団体メンバー等21名で、クヌギ、ミズナラ、コナラなどの苗木150本を植樹しました。シカによる食害防止のために、1本ずつ、生分解性のラクトロンネットもかぶせました。

リーダーの門河孝夫さんは「数年前に植えた苗木は、背丈を超えるくらいに成長した。里地における獣害軽減に加え、ここは水源地区なので豊かな水を育む森を還元させたい。次年度からは、地元の小学生にどんぐりの苗木を育ててもらう活動も始める」と話をされました。

数十年後には豊かな森となり、鳥獣は山で、人は里で、お互いに幸せに暮らせる日が来るのが待ち遠しいです。



植樹後の土砂採取跡地の山

京都モデルフォレスト協会では、民間団体の皆様が行う森林づくり活動取材します。詳しくは事務局宛にご連絡ください(連絡先は4頁下参照)。

もり 森林に生かされる人々

チーム以森伝心は、京都モデルフォレスト運動を推進し、京都の森林づくり活動を広げていくためのサポータークラブです。今号では、森林からの恩恵を受け、森林とともに生活している人たちを訪れ、その生業や暮らしを紹介する「森林に生かされる人々」をお届けします。

新しい漆の可能性を探る

東端 唯さん（漆芸家）



東端制作所にて

若手漆芸家の東端 唯さんは、伝統的な漆工芸を現代風にアレンジし、建築・インテリアデザイン、小作品等を手掛けることで注目を集めている。

蒔絵師の家系に育ち、高校卒業後、漆芸家の鈴木雅也氏に師事。その後、京都工芸繊維大学でデザインを学んだ。在学中はウレタン塗料を塗るアルバイトを経験し、「漆しか知らなければ漆の良さを説明できない。樹脂系の塗料は出来上がったときに最高の状態で次第に劣化していくのに対し、漆は50年かけて次第に硬く締まっていき、1000年以上かけて劣化していく」と話す。

また、設計事務所に勤めていたこともあり、この経験から、設計・施工から照明まで手掛けることが出来るのも強みと言う。

施工先は主にホテル、企業、病院、マンションのエントランス、ショップの内装など。漆作品は絵のように鑑賞するものとは違い、触って使うことができるため、家具や収納スペース等



漆作品

に活用できる。仕事は東京が多いが、ミラノやパリのブティックも手掛けることもある。東京の建物は洗練されシンプルである一方、無機質にな

りがちなため、「和を取り入れて屋内空間を豊かにしたい」と大企業から声をかけられることが多いという。

現在、材料の漆は9割くらいが中国から輸入されている。中国産漆は下地や中塗り用に使い、国産漆は薄く塗れて光沢が出るので仕上げや蒔絵用に使うと言う。「いつか夜久野で行われている漆の植林活動にも参加し、京都産の漆で京都の店舗を施工したい。関東で評価を得ているが、やはり地元京都で仕事をして漆芸について広く知って欲しい」と想いを語る。

大学の卒業生を弟子として期間を定めて預かることもあるが、「今は職人や作家になるのが難しく、若い人が漆芸が好きだけど続けられない状況がある。若い人には『デザインと素材の組合せを上手く自分で工夫し、自分の道をちゃんと見付けられるように』と伝えている。若い世代が目指せるような道を作りたい」と、次世代の育成にも力を注ぐ。

（奥田智子）

東端制作所

606-0814 京都市左京区下鴨芝本町 61
TEL・FAX: 075-781-2514 E-mail: mail@higashibata.com
詳しくは HP「東端制作所」で検索

事務局からのお知らせ

●情報誌「以森伝心」アンケートに御協力いただいた皆様、ありがとうございました。集計が終わり次第、紙面で御報告させていただきます。

●平成25年度会費をまだ納入いただいていない会員の皆様におかれましては、なるべく納入いただきますよう、御協力をよろしくお願い申し上げます。

発行：公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

入会案内資料をご希望の方は、ご連絡ください。

〒604-8424 京都市中京区西ノ京樋ノ口町 123 京都府林業会館 3 階（住所が新しくなりました。）

TEL & FAX 075-823-0170 E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp URL <http://www.kyoto-modelforest.jp>

2013 年 12 月発行

デザイン：自然堂（じねんどう）株式会社